

6 国有林野の事業運営

6 国有林野の事業運営

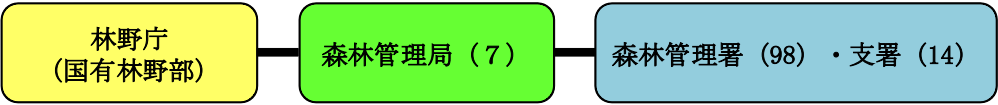
国有林野事業は、ブロック単位の7森林管理局、流域単位の98森林管理署の下、一般会計への移行を踏まえ、公益重視の管理経営の一層の推進や森林・林業再生への貢献等に対応した組織とし、また、民間事業者に委託できる事業は基本的に委託するとともに、情報システムの活用等に取り組み、効率的な管理経営に努めています。

(1) 民間委託の推進

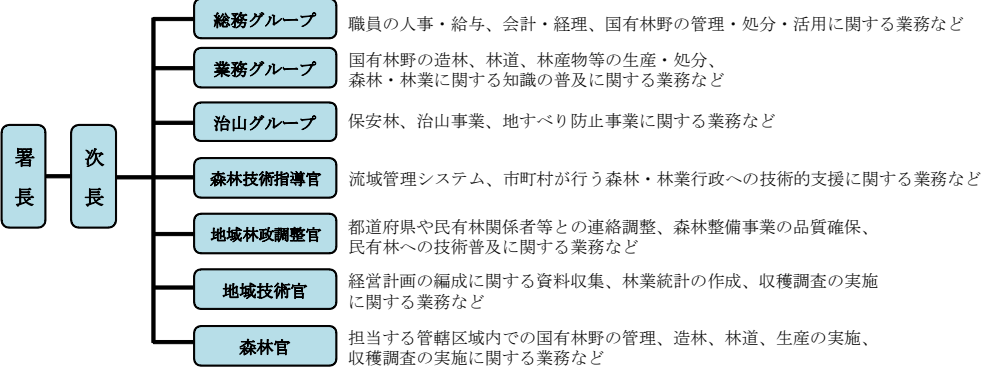
国有林野事業における森林整備等の実施については、民間事業者への委託を基本としており、伐採（素材生産）の全てに加え、植栽や保育についても、その全てを民間委託により実施しました。

なお、平成26年度は国有林野事業を受託した林業事業体等で、10件の重大災害が発生するなど労働災害が発生しており、林業の現場での労働安全衛生の確保が図られるよう、契約時における安全指導や請負実行中の現場巡視等に引き続き取り組んでいます。

図－ 9 国有林野事業の管理経営の実施体制



図－ 1 0 森林管理署の事業実施体制(代表森林管理署のイメージ)



表－ 2 0 請負事業等における重大な災害の発生状況

(単位：件)

区 分		重 大 な 災 害 の 発 生 件 数		
		平成26年度	(参考)平成25年度	(参考)平成24年度
請負事業	素材生産・造林請負	3	2	5
	林道	2	－	2
	治山	－	4	－
	その他	1	－	1
立 木 販 売		4	1	2
合 計		10	7	10

注： 1 重大な災害は、①死亡災害、②労働者災害補償保険法施行規則別表第 1 の障害の等級表の等級区分中、第 1 級から第 3 級までに該当すると思われる災害、③同一災害で 3 名以上の被災者を出した災害、④第三者を死傷させた事故、⑤その他特に異例な事故又は災害である。

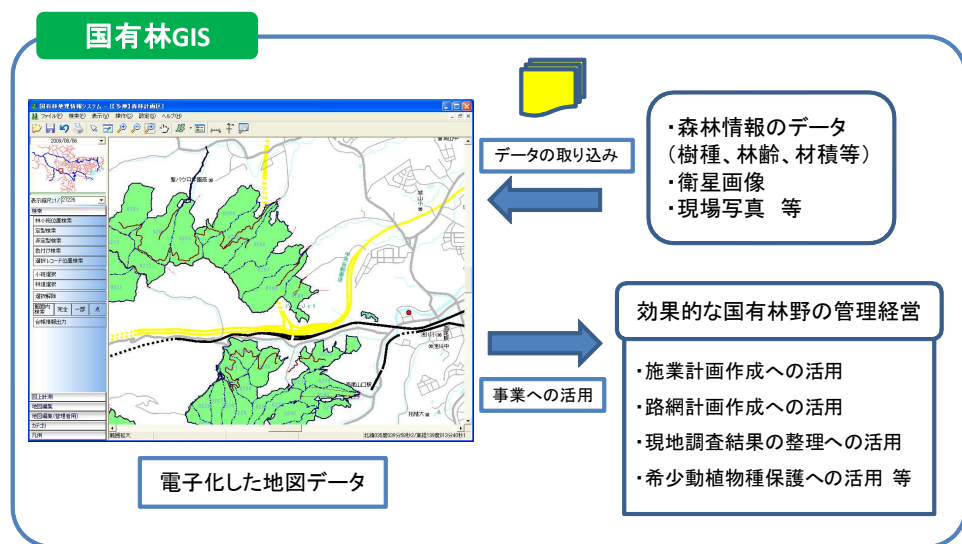
注： 2 その他は、トラック運搬(荷卸し作業)、素材運搬である。

(2) 情報システムの活用

平成26年度は、事務処理の効率化を図るため、国有林野情報管理システム等の安定的な稼働や、機能の充実、ネットワークを通じた円滑な情報の伝達等に努めました。

また、国有林GIS^{*}を活用し、施業計画の作成とともに、森林施業や路網整備、災害調査等の様々な事業の効果的・効率的な実行に取り組んでいます。

図－１１ 国有林GISの活用



【活用事例１】ニホンジカ被害調査による被害エリアの把握 (関東森林管理局)

図表1-1 ニホンジカの被害調査チェックシート

調査年度: 平成25年度
調査区域: 東京都 山手区 山手区立 山手区立 山手区立

調査員: 山手区立 山手区立 山手区立 山手区立 山手区立

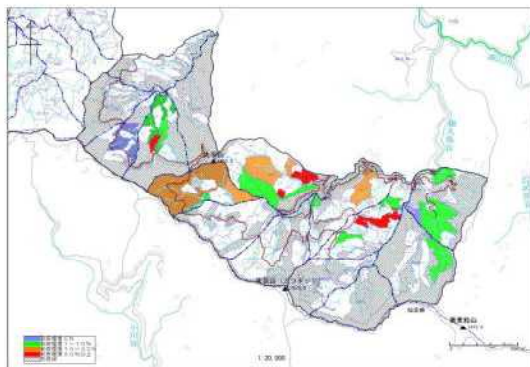
調査日時: 平成25年 月 日

調査内容: 山手区立 山手区立 山手区立 山手区立 山手区立

調査結果: 山手区立 山手区立 山手区立 山手区立 山手区立

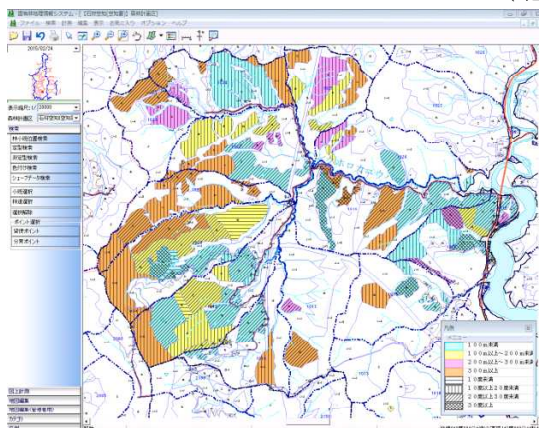
調査写真: 山手区立 山手区立 山手区立 山手区立 山手区立

調査コメント: 山手区立 山手区立 山手区立 山手区立 山手区立



説明：森林官等がチェックシートにより報告したシカによる立木の食害等の状況を取りまとめ、地図に反映したものです。広域的なシカ被害対策を推進するため、市町村等の民有林関係者にも情報提供しています。

【活用事例２】木質バイオマス資源の活用に向けた検討 (北海道森林管理局)



説明：樹種や林齢、間伐等の施業履歴、林道からの距離、傾斜等の条件ごとに色付けし、間伐材を木質バイオマス資源として搬出可能な施業地を選定するための資料として活用しています。

（３）計画的かつ効率的な事業の実行

国有林野の管理経営に当たっては、適切な森林整備を通じて収穫量の計画的な確保や、コスト縮減等による計画的かつ効率的な事業の実行に努めています。

国有林野事業特別会計に属していた債務については、一般会計への移行に伴い設置された国有林野事業債務管理特別会計に承継し、林産物収入等により返済することとされており、平成26年度は76億円の返済を行いました。

（４）安全・健康管理対策の推進

平成26年度の職員の災害の発生件数は、平成25年度と比べて減少しています。

引き続き、重大災害の根絶はもとより、災害の未然防止に向けた取組を推進するとともに、心の健康づくり対策にも力を入れるなど、職員の安全確保と心身両面にわたる健康づくりを進めています。

表－２１ 国有林野事業の債務返済状況

(単位：億円)

	平成26年度	(参考) 平成25年度
債務返済額	76	62

注：金額は四捨五入した数値である。

表－２２ 林産物等販売の状況

(単位：万m³、億円)

区 分	平成26年度		(参考) 平成25年度	
	数 量	金 額	数 量	金 額
林産物等収入	－	246	－	232
立木販売	228	29	227	25
素材販売	247	216	250	206
その他	－	1	－	1

注：１ 数量は、立木販売は立木材積で示し、素材販売は素材（丸太）材積で示している。そのため、数量の計は記載していない。
２ その他は、雑収である。
３ 立木販売の数量には、分収林等の民収分（H26：117万m³、H25：116万m³）を含む。
４ 立木販売の金額には、立木販売のほかに環境緑化用樹木、立木竹及び幼齢木補償料等を含む。
５ 計の不一致は、四捨五入による。

表－２３ 職員の災害の発生状況

(単位：件)

区 分	災 害 発 生 件 数			
	死亡	重傷	軽傷	合計
平成26年度	0(0)	11(31)	24(69)	35(100)
(参考) 平成25年度	1(3)	17(44)	21(54)	39(100)
(参考) 平成24年度	0(0)	14(38)	23(62)	37(100)

注：１ 重傷は、休業日数８日以上を負傷である。
２ () 書は、合計に占める負傷の程度別の比率（％）である。
３ 計の不一致は、四捨五入による。



錦帯橋と城山国有林（近畿中国森林管理局）